

新たな知をリードする

毎月末発売

【知の新書】

009

山本てつし

007ジェームズ・ボンド論

PART1

ダニエル・クレイグ映画の精神分析と経済と哲学

めくるめく007／ボンド世界。

多彩で異様な悪漢、美しいボンド・ガール。だが、性差別、人種差別（悪は黄色人種だった）、対外強行主義、外国嫌い、などと批判されたボンド映画。こうした批判を超えるべく、クレイグ・ボンドは超人的スパイから、実存的闇を内に抱える人間臭い、本気で女性を愛したボンドになって、さらに傷だらけになって派手派手しいアクションを展開。精緻な映画表象を分析し、その心的世界を明示する本格的なボンド論の登場！

クレイグ・ボンドは、孤児であった暗闇をうちに秘め、躊躇なく規則を侵犯しても悪を倒す。悪＝スペクターは産業社会経済のごまかしが産んだカオスにつけこんで、政治家・官僚の無能の腰抜けどもによる救い難い阿呆の民主主義を正そうと世界制覇を目論む。悪は時代状況表象そのものである。欲望構造三角形における母・父に対する息子たち（スペクター首領はボンドと兄弟）の闘い。それは熱狂的自由エゴと責任ある自由自己技術との闘いである。物語公式が厳格に構成されている。

【赤版 1430円】

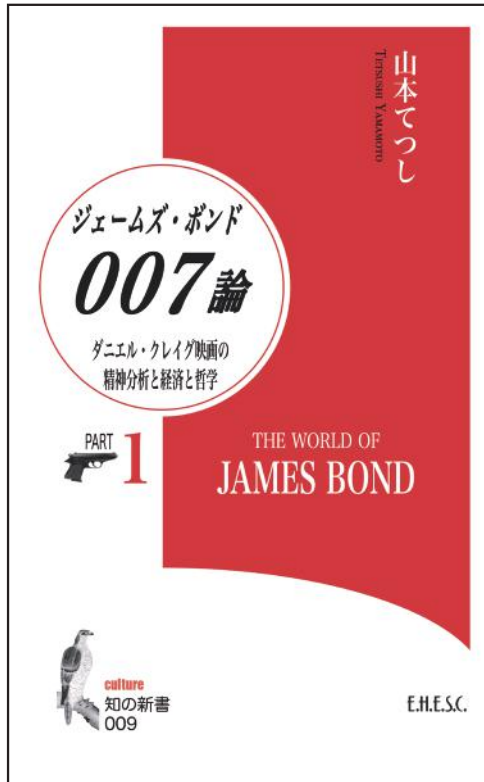
既刊新書

- 001 山本哲士 甦えれ 資本経済の力
文化資本と知的資本
- 002 矢野雅文 科学資本のパラダイムシフト
パンデミック後の世界
- 003 松下和夫 気候危機とコロナ禍
緑の復興から脱炭素社会へ
- 004 吉本隆明 超資本主義の現在
- 005 浅利 誠 ジャック・デリダとの交歓
パリの思索
- 006 ボルタンスキー 道德判断のしかた
告発/正義/愛/苦しみと
資本主義の精神
- 007 河北秀也 場所のこことことば
デザイン資本の精神

2021年11月30日発売

文化科学高等研究院出版局

ehescjapan.com を参照



192 ページ 新書
定価 1430 円 (本体 1300 円+ 10% 税)
ISBN 978-4-910131-22-1
C1210

007 james bond



ボンドが使う
ワルサー PPK

山本てつし

批評論者。西部劇、フィルムノワール、高倉健・藤純子の任侠映画をめぐる深い哲学・文化考察をなす。趣味と研究の戯れに思考する論者。ラカン、フーコー、吉本思想から、映画文化を考察。

はじめに 007は永遠に！

ダニエル・クレイグのボンド世界

- カジノ・ロワイヤル 「ぼくは君のものだ」
テロリズム／マネー主義への批判と愛の物語
- 慰めの報酬 「あなたに自由を与えたい」
多国籍環境主義への批判と復讐倫理／バナキョラー存在
- スカイフォール 「なんでそんなに走り続ける」
熱狂的自由エゴへの批判と「母－息子」の欲望構造
- スペクター 「クック」
情報管理体制への批判と「父－息子」の欲望三角形

● ノータイトム・トウ・ダイ 「昔々、ボンドという人がいました」
バイオテクノロジー批判とボンド主義の終焉？

● ボンド映画のパターン：物語公式

● ボンドの敵：悪党は時代の表象

● ボンド・ガールからボンド・ウーマンへ

● ジェームズ・ボンドとは何か？

● ジェームズ・ボンドの元型：シヨーン・コネリー

● 007シリーズのプロデュースング

まとめ ボンド世界の転移形成と物語展開における欲望構造

男の観る性的対象物だったボンドガールに代わり、ボンドに対等自立した知的なボンドウーマンへの変容。本気でヴェスパーを愛す。悪はボンドの男根を去勢すべく攻撃する。ボンドは女性から愛されるも、裏切られ、命を救えず、Mも死なず失敗する男。だが…

ご注文はJRCへ fax.03-3294-2177

文化科学高等研究院出版局 tel.03-3580-7784 fax.03-5730-6084

007ジェームズ・ボンド論 PART1

ダニエル・クレイグ映画の精神分析と経済と哲学

山本てつし

定価 1430 円

新書

書店名

部数

ISBN 978-4-910131-22-1

C1210

¥1300E